

この本を読んでいただく前に

この本は、筆者が SNS (Facebook) で投稿した開業後のマネジメントに関するテーマ (筆者の投稿文) とフォロワーから寄せられたコメントのスレッドごとに開業後の経過に沿って掲載したものです。

●投稿時スレッド部分

[筆者の投稿]：筆者の投稿文をほぼ投稿時のままの表現で記載

[みんなのコメントのサマリ]：フォロワーから寄せられたコメントのうち、テーマに関するもののみ選択し、さらに引用掲載を許諾いただいたものを、箇条書きに要約したもの

[セルフコメント]：フォロワーからのコメントに対する返信など筆者自身の投稿時のコメント

●投稿後に筆者が本書のために加筆した部分

[スレッドタイトル]：本書のためにスレッドごとに付けたタイトル

[追記] (明朝体部分)：セルフコメントの筆者の追記

[その後] (明朝体部分)：投稿内容について、その後の経過の報告



開業後 297 日

#在宅医療 #一人診療所

在宅医療はソロ診療所では無理？

在宅ってすごく意義がある仕事だと理解してるのですが、一人所長時代の経験からソロじゃやれないなという結論になっています。いつかはグループ化してやりたいとは思ってます。



みんなのコメントのサマリ

- 外来に何年か通っていた患者さんへの在宅医療では高い水準は期待されてないようだし、かえってソロのほうがやりやすい
- 緩和ケア病棟からの依頼での在宅医療はきついが…
- これからは 24 時間 365 日対応は無理なら無理でよい。行けないときは救急や病院に依頼することもあり。医師 - 患者関係は適度な距離感で「知らないうちに入院していた」もあってよい



セルフコメント

現状高齢の方も外来で診ているので、この方達が通えなくなったら「じゃあうちじゃ診ませんよ」とはできないよなーとは感じています。まずはそこらかなと。

(追記)

海外では結構割り切っていて、夜間や時間外は時間外対応の専門家がその時間は対応して、診療時間内しか対応しない在宅医療機関が普通のところもあるようです。

スレッドタイトル

筆者の投稿

フォロワーのコメント

上記コメントに対する筆者のコメント

投稿時のスレッド

スレッドにはない筆者が本書のために後日に追加した文章 (明朝体部分)